

事業実施の背景・課題、目的・目標

背景/ 課題

パラリンピック実施競技9団体の共通した特徴：

- ・会員数・支援者や協賛企業が少なく、自己資金が獲得できておらず、財政基盤が脆弱。
- ・広報活動やスポンサー獲得活動が十分にできていない。
- ・全体的に組織運営の余力がなく、人材が不足なため事務作業が非効率。

共通の課題意識を持った9の個性的なパラリンピック実施中央競技団体が新たな枠組みでパラスポーツの課題に取り組む協働プロジェクトを開始

パラ9団体協働経営基盤強化プロジェクト（通称：P.UNITED、PU）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| （一社）日本車いすカーリング協会、 | （一社）日本パラカヌー連盟、 |
| （一社）日本障がい者乗馬協会、 | （特非）日本パラ射撃連盟、 |
| （一社）日本知的障害者水泳連盟、 | （一社）日本知的障がい者卓球連盟、 |
| （特非）日本パラ・パワーリフティング連盟、 | |
| （一社）日本パラフェンシング協会 | |
| （一社）日本身体障害者アーチェリー連盟、 | |

健全者と障がい者がごく当たり前に共にすごせる社会作り



P.UNITED

目的/ 目標

9の個性的なパラリンピック実施中央競技団体が新たな枠組みでパラスポーツの課題に取り組む協働プロジェクト

1. 団体の自主自立を目的とした組織基盤（ヒト・モノ・カネ）の強化

2. 競技力向上・アスリート育成 3. パラスポーツの社会的意義の発信

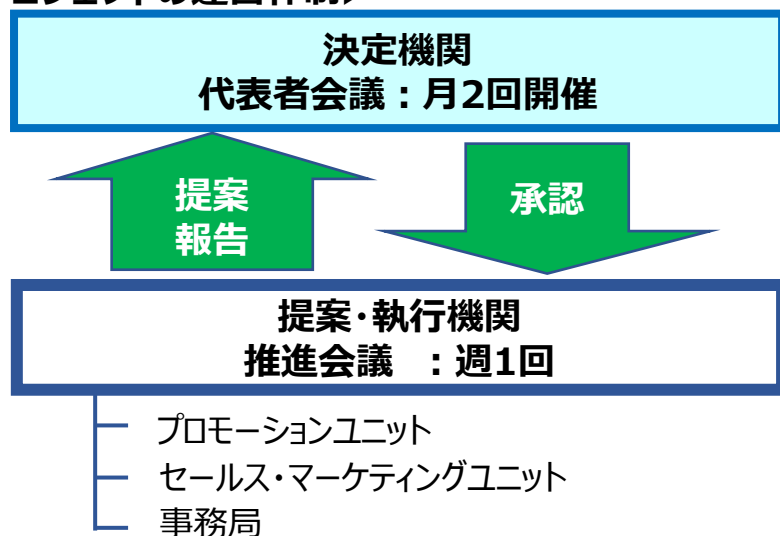
9団体が協働することで、まずは2. 3. を行うための各競技団体の「経営基盤の強化」を3年の期間で戦略的、計画的に行う。

本事業における具体的な取組内容

3年間の位置づけは、1年目：協働プロジェクト稼働一年目、組織運営体制、コミュニケーションツール整備などの基盤構築、2年目：活動本格化、**3年目：各団体の自立化に向けた最後の仕上げ、プロジェクトの新たな可能性の模索**を行う

計画	実施期間	取組み内容
No 1	令和 5 年 ～ 7 年	9競技団体協働 価値創出事業 専門家による助言を受けながら、デジタル（SNS、WEB）とリアル（イベント、メディア取材 等）の組み合わせによるコスト効率の良いプロモーション（広報活動全般）を通じ、当該プロジェクトのみならず9競技団体及び競技を幅広く認知させ、価値向上やサステナブルな競技支援活動につなげる。
No 2	令和 5 年 ～ 7 年	9競技団体協働 事務作業クラウド化事業 「10アカウント以上」など少人数の競技団体では利用できなかった外部サービスの利用、データ情報（選手戦歴・成績）等の共同クラウド化による事務作業効率化を実施し、将来的には競技団体横断的な事務を1～2名で実施できるような環境・体制を整備する
No 3	令和 5 年 ～ 7 年	9競技団体協働 マーケティング事業 パラスポーツで初のジョイントマーケティングプログラムにて、新たな市場価値を示し、民間資金を獲得する仕組みづくり、企業への新たなスポンサープログラムのセールスと運用を行う（年間1000万円以上の協賛獲得）
No 4	令和 7 年	9競技団体協働プロジェクトの継続化検討 各競技団体の自立化に向け協働事業を通じた知見を各団体に落とし込むのに加え、新たなステージを目指した協働プロジェクトのあり方を検討する。

<プロジェクトの運営体制>



- ・ **P.UNITEDを構成する9団体からの代表者で構成**
- ・ **承認事項**
規約、入会・脱会、予算、決算、PM・正副代表者の任命・解任
その他 大きな事業戦略方向性など

- ・ **推進会議メンバー**
PU代表、PU副代表、PM、PM補佐、ユニットリーダー（2）
外部専門家（2）、事務局（1）
- ・ **全体戦略、個別施策（イベントなど）の立案と提案**

令和 6 年度の取組内容

令和5年度の反省

- ・ 運営体制構築に労力/時間かった
- ・ 認知獲得のためのPR活動に注力
- ・ 自主開催イベント（非効率）

方針：2年目は本格活動のフェースととらえる

- ① SNSなどコミュニケーションツールを有効に活用、プロジェクトの更なる認知拡大、価値を高める活動を継続
- ② 本格的なセールス活動の開始
- ③ 2024年のパリパラ大会までの機運醸成の活用と大会後の機運を考慮した取り組みを実施

価値創出事業	・ 興味・関心をもってもらう仲間づくりのためのWEB、SNSを通じた情報発信（令和 5 年度から継続） ・ メディアとの関係構築と強化（PR専任担当による主要メディアへのアプローチ 等） ・ 相乗りイベント参画によるコストミニマイズなPR効果の実施
事務作業クラウド化事業	事務作業等の効率化・協働化（ファイルサーバー・サービス活用 他 令和 5 年度から継続）
マーケティング事業	協賛企業獲得のためのマーケティング活動の本格化（マーケティング体制の強化） ・ 新規パートナー獲得専任担当追加による役割の明確化

令和 6 年度の取組の進捗・成果・課題

<価値創出事業>

・ SNS（Instagram、X、FB）： 週 2 回を基本に投稿実施 9 団体紹介～パリパラ大会～季節にあった話題など計画的な投稿でフォロワー数も大きく伸長できた。



フォロワー数 684
2024年4月時点より445増加



フォロワー数 440
2024年4月時点より398増加



フォロワー数 108
2024年4月時点より58増加



令和6年度の取組の進捗・成果・課題

- ・ **メディアとの関係強化**：
 - PR専任担当のメディアへのアプローチ強化⇒朝日新聞、47NEWS、共同通信経由地方紙への記事配信・記事掲載
 - 記事掲載につなげるために主要メディア20社に対し、アンケート実施 ⇒ イベント等の施策に落とし込み
 - 25年3月 記者会見をオアゾ東京で実施予定。



←
2024年9月12日
南日本新聞
〈他共同通信記事掲載紙〉
河北新報、岩手日報、千葉日報、
東京新聞、山梨日日新聞、
信濃毎日新聞、静岡新聞、佐賀新聞



←
2024年5月19日/
朝日新聞全国版・朝刊

→
2024年11月23日
共同通信「47NEWS」



- ・ **相乗りイベント参画により低コストによる実施**、一過性のイベントにならないようなSNS発信やメディア掲載につなげることができた。
 - 東京都連携： Beyond Tokyo・・・5月、7月、9月の3回実施、世田谷区での小学校でも講演会実施
 - 横浜市にぎわいスポーツ文化局・・・9月、10月、25年3月の3回予定

大型博覧会イベントへの出展

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム 2024年5月12日



パラスポーツ体験

TOKYO パラスポーツ FORWARD 2024年9月22日



NHK Newsでの放映

車いすフェンシング
選手と一緒に体験をする来場者

バカサー
選手と一緒に体験をする来場者

基調講演への参加

TEAM BEYOND CONFERENCE 2024年7月25日



東京都内小学校で講演

2024年9月18日



令和6年度の取組の進捗・成果・課題

事務作業クラウド化事業	事務作業等の効率化・協働化（ファイルサーバー・サービス活用、コミュニケーションツール）は継続活用中
マーケティング事業	・ 新規パートナー獲得専任担当を1名任命し、マーケティング専任を2名体制に強化。計30社にコンタクト結果、「山丸」を新たなパートナーとして獲得（契約済） ・ 既存スポンサー（日本モーターボート選手会と第一情報システムズ）もアカウントマネージャーとして担当を専任化することで継続協賛を獲得（日本モーターボート選手会と1月に碧南市で合同イベント開催予定） ・ 戦略的な新規スポンサー獲得のため、国内他競技団体のスポンサー企業に対し調査を実施（仮説構築とその検証、来期の施策につなげる）

本事業の成果目標・KPIの達成状況

計画	実施期間	取り組み内容	成果目標・KPI	達成状況
No. 1	令和5年 ～7年	9競技団体協働 価値創出事業	目標: 認知度を高め、参加者・支援者増 KPI: 各競技団体のSNSフォロワー数・閲覧数を1.5倍や各競技団体の会員数（支援者・賛助会員等）の10%増加 目標: 9団体の競技普及プロモーション活動の実施。プロジェクト主催の普及イベント（競技体験他）開催のみならず、PUの価値、魅力を高める新規手法（WEB/SNS/イベント以外）や共生社会実現を支援する取り組みにも着手 KPI: プロジェクト主催の普及イベント（競技体験他）の開催と500人以上の参加。	24年1月よりSNS発信し、フォロワー数としてこの1年で合計 1000以上 まで伸ばしたものの、各競技団体のフォロワー数や会員数の押上げまで至らず。目標などの見直しも含め今後検討。 東京都連携：Beyond Tokyo・・5月、7月、9月の3回実施、世田谷区での小学校でも講演会実施を軸に実施。
No. 2	令和5年 ～7年	9競技団体協働 事務作業クラウド化事業	目標: 事務作業効率化 KPI: 将来的に9競技団体の事務を1～2名で実施できるレベル	システム活用によりメンバー間では効果的との声を聴く。今後の体制含めてシステム入れ替えなどを今後検討。
No. 3	令和5年 ～7年	9競技団体協働 マーケティング事業	目標: スポンサー企業獲得 KPI: 年1000万円以上の協賛金獲得	今年度も1社協賛企業を獲得 し、昨年度の 2社も継続協賛 のため目標達成。
No. 4	令和7年	9競技団体協働プロ ジェクトの継続化検討	目標: 9競技団体の自立化支援 KPI: 令和7年度中に決定	今期は活動なし

方針： プロジェクト3年目、最初のフェーズの最終年として、**各団体での自立化に向けた最後の仕上げ、プロジェクトの新たな可能性を模索**を行う。組織基盤（ヒト・モノ・カネ）の強化、特に協賛企業獲得を軸に取り組むが、「競技力向上・アスリート育成」につながる**更なる競技普及**や、「**パラスポーツの社会的意義の発信**」などにも取り組む。

価値創出事業	・ メディアとの関係強化を継続 ・ SNS/WEBによる継続的な情報発信 - SNSは週一程度発信し、特に各競技団体との連携を図る。 （9団体大会/イベントのシェア・Reポスト等含む） - YOUTUBEを活用し、「競技を見せる・魅せる」ことをトライする。 ・ 新たな課題解決に向けた更なる競技普及、「パラスポーツの社会的意義の発信」に取り組む - 健常アスリートとの連携、また競技にとどまらず共生、街づくり、などへの貢献を行う。 - 東京都、横浜市に加え地方行政との連携も検討。
マーケティング事業	・ 既存スポンサーの関係維持のための企画提案（山九、日本モーターボート選手会、第一情報システムズ） ・ 戦略的な新規スポンサー獲得（今年度の調査をベースとした仮説を深化）
協働プロジェクトの将来	将来像として、現在の「提携」的なプロジェクトから一歩踏み込んだ「企業統合」的な可能性を探る ・ P.UNITEDと各競技団体の役割分担、明確化 ・ 体制案、人員配置まど専門家の意見も取り入れながら検討深化 （各競技団体理事会との協議 など）